

広報あか池 3

No.362

■発行/赤池町役場〒822-11福岡県田川郡赤池町大字赤池1146番地の1☎0947(28)2004 ■編集/総務課

★町の人口★10,346人(+85)男4,861人(±0)女5,485人(+85)世帯合計3,597(+55)平成5年1月31日現在()は前年同月との比較です



甲子園でも がんばります

赤池球児に応援を!!

3月26日から開催される、選抜高校野球大会に出場が決まった東筑紫学園。この学校の野球部に赤池町出身の球児が5人います。抱負を聞いてみました。

写真左より、宇都宮征紀くん「一戦一戦ベストを尽くします」・片岡秀太くん「赤池町を代表して頑張ります」・土田孝美くん「一つでも多く勝てるよう頑張ります」・藤田純一くん「まず一勝をめざします」・堺雄二くん「全力をつくして頑張ります」

視点

水道料金の悪質滞納者に対する給水停止措置はびっくりするほど効果が上がっている。二月一日、赤池町はじまって以来の水道の給水停止措置である。最初にその任に当たった担当職員は止水弁を回

す手は大変緊張し、勇気がいったという▼役場には、給水停止に踏み切ったその日から町民の皆さんからの電話や直接職員に色々な声が寄せられた。中には強行な意見もあったが、多くは「もともとちゃんとしておくべきだった」と云う声である▼新聞報道、テレビ報道をされた割には、この赤池町の給水停止措置が他の市町村の職員と行う研修会や会議の場で話題にならないと云うのが水道課の職員の話である。よく話を聞いて見るとそれもそうだ、他の市町村では、すでにこうした措置は、実施しているのだと云うことである。今まで、きまりどおりやってこなかったことが問題だった▼赤池町の財政再建計画は三月で二年度を終えあと十年間となった。三十一億円の赤字の解消と二十八%もの高い借金返済の体質を改善しなければならぬ。税金、使用料などあげれば切りがない。外灯の問題も同じだ。設置基準もなければ負担基準もない。改善が求められる。

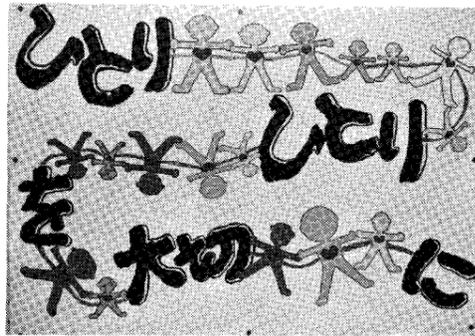
人権旬間特集

あなた自身のため
『人権』を
考えてみませんか

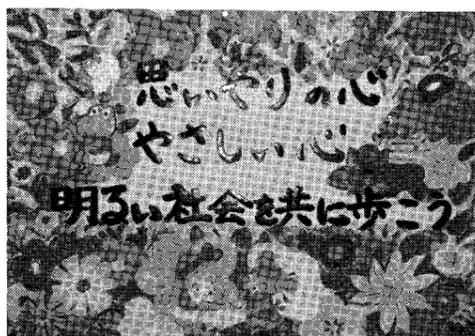
昨年の人権尊重旬間(12月4日～14日)で、町内小・中学校の児童生徒から「作文・ポスター」、地区公民館や職場から「ポスター」など、数多くの作品が寄せられました。その中から力作と思われる作品を紹介しました。
いかがだったでしょうか。



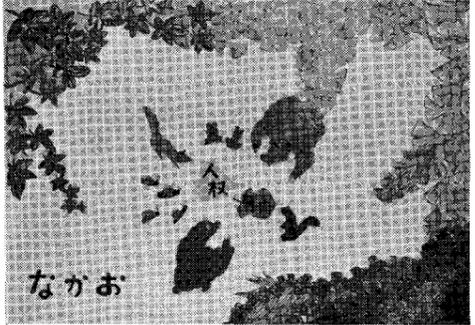
▲ 7区公民館



▲ 赤池保育園



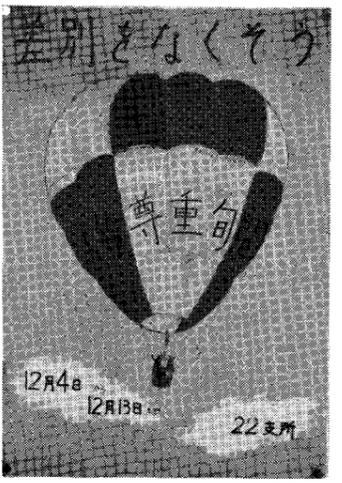
▲ 市場保育園



▲ 中尾保育園



▲ 9支所公民館



▲ 22支所公民館

分団のことについて

市場小学校 太田 さつきさん(西町)

わたしの分団では、毎日のように問題がおこるので、登校がうまく進みませんでした。その理由は、特に、下級生にあります。それは、「きつい、足が痛い。」などの文句、けんか、ならび方にあります。

「ああ、めんどくさい。」と思っていました。それでも、わたしは、めんどくさがりながらも、いつもめんどくさを見てあげました。けんかでは、たった少しあたたかく泣いたり、ならび方では、この人いやなどの文句がありました。こんなことがあって、うまく進みませんでした。

上級生は、さすがにそういう人はいません。は、いませんでしたが、寄り道などの問題がたまに、ありました。わたしは、下級生には、よく分団集会でも、悪いことをした時は、先生に言えるけれど、上級生のことになると、なかなか言えなくなるのです。これは、一種の差別ですが、どうしても言えないのです。こんな時、先生が、福祉問題の話をしてくれました。わたしは、その話を聞いて、一番印象に残っ

ているのが、いくらその人が、身体障害者でも、かわいそうなんかの気持ちをもってはいけない、みんなと同じ人間として、つきあわなくちゃいけないんだと教えてくれたことでした。それで、わたしは、この話は、前に話した分団の話にも、関係があるんじゃないかと考えました。そう、考えると、寄り道の話でもそうだけど、下級生も上級生も、

同じ人間なんだから、悪いことをしたら、注意しなくちゃいけない

と思います。だって、わたしは班長なんだから。

みんな同じ

市場小学校 杉田 亜紀さん(車道二)

私の身の回りには、いろいろな人がいます。顔や体の大きさがちがうように、目が見えない人や、体が思うように動かない人もいます。私は、今までそんな人になんか行動をとっていかか考えてみます。

あげてしまったのではないかと心配しています。机を運ぶという仕事は、自分が一人になった時に、人にたよらないで生きていくための大事な仕事だから、最後までがんばろうと思ったのではないのでしょうか。また、こんなこともありました。体育の跳び箱の時間です。私は、だいたい跳べるようになって、次の跳び箱へ行って、低い方の跳び箱を見ていました。すると、数人の人にまじって、その人も跳んでいました。

体育は、その人にとってのもので、ごく大変なものです。でも、跳び箱に向かって、何度も何度も跳ぼうとしています。「もう跳べない。」などと決して言わずに、汗をかきながら跳んでいます。だんだん、その跳び箱を跳ぶ人が少なくなってきたり、先生に教えてもらったり、友達の応援を受けたりしながら、ハァーハァー息を切らして跳び続けています。私は、自分が跳んでからも、その人の方を見ていました。

行くまいかとためらっていました。僕に向かい側に座っていた三代から四十才くらいのおばさんが「大丈夫ですか。手伝いましょうか。」といいながら、上履きをおばさんの持っていた袋にいれてやり、手をとって玄関までつれていってあげたのです。その病院の玄関は、石段が五段くらいあるのですが、そこを手をとってつれていってあげました。そのおばさんは、おばさんに何度も何度もお礼をいって帰っていききました。それを見て僕は、これが思いやりだなと思いました。父や母の運転する車にのっていると感じることで、国道や県道など、大きな幹線道路は、今まさに交通戦争です。

人権について

赤池中学校 安武 和人くん(薬王寺)

私は、体の不自由な人と、同じクラスになった時のことです。その人は、そうじをしていて、机を運んでいました。私は、初め何も気が付かず、そうじをしていました。私がふと、その人の方を見てみると、机を運んでいました。歯をくいしばって、少しづつ、少しづつ進んでいます。私はそれを見て「手伝ってやらないと。」と思いました。そして、その人の運んでいた机をひよいと持ち上げて運んでいきました。

人は、だれでも人権をもっています。老人も、大人も、子供も、さらに生まれたばかりの赤ちゃんまで、基本的人権をもっています。僕は、六月末から、七月初めまで、基本的な人権をもらっています。耳がわるくなり、耳鼻咽喉科に通院しました。その病院内での出来事です。

病院内の椅子に座っていると、診察室から足のわるいおばさん

が、よたよたと歩いてきました。そのおばさんは、上履きをはいています。それを玄関のところまでぬぐうとして片足をあげた瞬間、そのおばあさんはよろよろとよろけて倒れそうになりました。僕が座っていた椅子の位置は、そのおばあさんの位置から、そう遠くはなかったのですが、行くか、

人権作文

私が、体の不自由な人と、同じクラスになった時のことです。その人は、そうじをしていて、机を運んでいました。私は、初め何も気が付かず、そうじをしていました。私がふと、その人の方を見てみると、机を運んでいました。歯をくいしばって、少しづつ、少しづつ進んでいます。私はそれを見て「手伝ってやらないと。」と思いました。そして、その人の運んでいた机をひよいと持ち上げて運んでいきました。私はその時「これでいいんだ。」と思っていました。それは、その人が困っていると思ったからです。でも、今、考えてみると「これでよかったのかな。」と思います。それは、その人は困っているのではなくて、がんばって最後まで運ぼうとしていたんじゃないかという事です。私は、それを取り

ばってすれればいい。」と思い、高い跳び箱の方へ行く決心をしました。このことで、一つ私は教えられました。それは、どんなにむずかしいことでも、努力するという事です。その友達は、努力することをお手本みたいだと思います。私を、その友達の話を聞いています。私を、その友達の話を聞いています。私を、その友達の話を聞いています。

「やめて下さい。」と、強い口調でその男子に言ってやりました。す

しかし、父や母は気を長くもって、ゆずったり、ゆずられたりしています。手もとにある辞典で「人権」という文字を引いてみると、「人が本来もっている生命と自由の権利。」「人格権」と、書いていたので、僕なりに考えてみました。この人格権の中には、差別されない権利や、初めの方に書いた、思いやりやゆずりあいもはいると思います。人権を守るといことは、思いやりや、ゆずりあいを守るといことだといって過言ではないのです。人権を守り、差別をなくそう。みなさん、このことが一番大切なことではないのでしょうか。